



3 万年前の航海 徹底再現プロジェクト

2 6 0 0 万円を超える募金が集まり
プロジェクト始動が決定しました
経緯や今後の計画等についてお知らせいたします

本プロジェクトについて、これまでの多数の報道に感謝申し上げます。

<経緯>

本プロジェクトの第一段階の活動資金を、日本の国立の博物館として初となるクラウドファンディングによって募集してきましたが、下記のとおり目標額を達成することが出来ました。

2 月 9 日～4 月 1 2 日まで、約 2 ヶ月間の予定で開始したクラウドファンディングは、締切りより 8 日早い 4 月 4 日に、当初目標の 2 0 0 0 万円を達成しプロジェクトが成立いたしました。その後もさらにご支援をいただき、最終的に 8 7 2 名の方々から、当初目標を大きく上回る総額 2 6 2 0 万円ものご支援をいただくことができました。支援単価は 1 人あたり 3 万円あまりでした。ご支援、応援、そして報道して下さった皆さまに、厚く御礼申し上げます。

<https://readyfor.jp/projects/koukai>

<プロジェクト代表の感想>

海部陽介（国立科学博物館・人類史研究グループ長）

- ・ クラウドファンディング開始前は、2 0 0 0 万円の目標額設定はハードルが高すぎるかもしれないと悩みましたが、結果として予想を大きく上回る厚いご支持を得ることができました。感謝の気持ちでいっぱいであるとともに、「自分たちがやろうとしていることが間違っていない」という自信につながりました。
- ・ （クラウドファンディングという手法について）通常の助成金申請と異なり、今回は一般の方々にプロジェクトを直接説明してご支援をお願いしました。そのおかげでプロジェクトの意義を、より多くの方々にご理解いただくことができたのではないかと思います。

<第二段階の資金調達について>

何らかの方法で、来年度の台湾→与那国島の実験航海に必要な資金を別途約 3 0 0 0 万円調達しなければなりません。そのための準備を始めていますが、再度クラウドファンディングを実施するかどうかは未定です。

<今後の主な活動予定>

5月中 ホームページ立上げ、会員（支援者）向けメールニュース発信開始
支援者へのリターン発送

6月11・12日 航海プロジェクト・メンバー研究会（於：国立科学博物館）

7月1～16日 与那国島→西表島 実験航海

草舟つくり、漕ぎ手トレーニング、実験航海を順次行います。

この期間内の詳しい日程と出航日は、天候に左右されるため未定です。

8月初旬 台湾予備調査

8月27日 実験航海成果報告会（於：国立科学博物館）

※今後のプロジェクトの進行状況等は、国立科学博物館のホームページ内に開設する専用ウェブサイト等でお伝えしていきます。

<画像の提供>

報道用に下記のプロジェクトイメージ画像をご提供いたします。

次からダウンロードしてください：

<http://firestorage.jp/download/bb9f40b73d0284f81a3c9eb73971deb832acbcc9>

ダウンロードパスワード quynb5ew

- ・使用目的は今回の報道に限らせて頂きます。
- ・これまでに報道用に配布した画像もご使用いただけます。
- ・クレジット表記：「3万年前の航海徹底再現プロジェクト」 ※文字サイズを下げてください。
- ・トリミングして構いません。
- ・以下の写真は全て2015年10月に与那国島で撮影したものです。



プロジェクト内容・提供素材についての問合せ先：

海部陽介（プロジェクトチーム代表、国立科学博物館人類史研究グループ長）

TEL:029-853-8901（代表）、029-853-8184（直通）

E-mail:kaifu@kahaku.go.jp